



洛星新聞編集局
京都市北区小松原南町
TEL 2334

実行したい……

生徒に直接響くもの

本校の生徒会は中学、高校共に新年度を迎えて「活動しない生徒会」汚名返上のために再出発しようとしている。

本校の生徒会は、活動しないといわれるが、この原因はどこにあるのか。役員は熱意の問題、学校全体の雰囲気の問題、会則の問題等々あると思われる。本紙では新年度が始まったばかりのこの機会に、中学、高校の新及前中央、執行委員長にお集りなつて、座談会「生徒会の盲点をつく」を開いた。なお司会者は本紙の藤田裕二である。

足りなかつた熱意

司会 まず前年度の生徒会が不活動なままに終わった原因をさぐる。このことから始めていこう。

永原 生徒会全般にわたつて生徒会を良くしようという熱意が不足していたので、あつた結果になつたと思う。

増田 僕も同じ意見だ。その事が選挙によく表れてゐた。又選ばれた役員の中に熱意のない人がいた。第一僕みたいな……

森藤 役員が熱意のないといわれたが、役員に一つや二つや三つという意欲が欠けていたのではなかつたか。それに生徒の方でもそれを上へて行つて努力しなかつたからだと思つた。

川勝 生徒会に熱意がない人が一部の人に限定されてしまつてゐるという事も原因の一つだと思ふ。

水渡 僕は、不活動にさせた一つに、我々に受験という問題がひかえてゐるという事にあると思ふ。公立高校に行つてゐる友達に生徒会の事を話したのだが、友達達は生徒会が誰がやつてゐるのか、何をやつてゐるのかという事など全然知らない。公立高校では半分位が進学を希望してゐるが、その人達は生徒会の事を

局告

本年度より、新聞局顧問が変更。すなわち、若名先生がおやめになり、新たに緒方先生、寺西先生、藤井先生が顧問となられた。なお、専断のカメラマンの参加せられんことを望む。

理想……

全員のクラブ加入

原田 それもさうだが、一度できたクラブがぶれないようにしたい。例えば八八部のような他の学校にないような部が前にはあつたがいつのまにかなくなつてしまつた。

永原 今のままではクラブ活動はなかなか活発にならないと思ふ。僕が前に考へた事は、生徒全員がクラブ活動に参加してやつていけば活発になつていくと思ふ。

水渡 賛成だ。しかし全生徒がクラブ活動をするにはどうする。

川勝 クラブ活動が不活発な原因の一つに平均点が何点以上でないとクラブ活動をやつてはいかぬといふ先生があるといふことがあつた。高一で調べたところ、先生に驚かされたといふ人が大分

執行委員長選挙 川勝君楽勝

本年度の高校執行委員長選挙は四月二十五日行われ即日開票の結果、川勝君が二四六票で七六票の奥田君を破り、又中学、中央委員長、執行委員長は立候補者がそれぞれ原田君と垣田君の二人ずつで、信任投票の結果、それぞれ信任票一五五票、不信任票六五票、信任票一五〇票、不信任票一二票で、委員長に決定した。又各委員も次のように決定した。

高校執行委員会
委員長 川勝 俊典
委員 二A 奥田 三三 文化部長
二B 藤田 裕二 会計担当
二C 関片 勝彦 厚生部長
二D 高橋 幸夫 庶務担当
二E 石井 孝史 体育担当

高校中央委員会
委員長 水渡 嘉一
委員 二A 大槻 昭夫 文化
二B 連 靖夫 書記
二C 奥田 三三 書記
二D 水渡 嘉一 書記
二E 黒川 義直 書記
二F 山田 恒太郎 書記

中学中央委員会
委員長 原田 健夫
委員 二A 大槻 昭夫 文化
二B 連 靖夫 書記
二C 奥田 三三 書記
二D 水渡 嘉一 書記
二E 黒川 義直 書記
二F 山田 恒太郎 書記

中学会計監査
三A 川勝 俊典
三B 田村 善之
三C 小宮 山一
三D 浅田 洋彦
三E 藤井 隆

高校会計監査
三A 浅田 洋彦
三B 藤井 隆
三C 藤井 隆

H・Rの利用

司会 生徒会をもつたものとしてクラブ活動の他に、ホームルームがあると思ふが、これはうまく利用されてゐるか。

永原 ホームルームの意見を生徒会に伝えるのが理想ですがね。

垣田 そうだ。しかし今のホームルームは……

増田 今のホームルームはまずクラスの親睦をはかるというところから入つてゐる。

川勝 僕の場合、入学した時一つクラブにでも入つてあつた。やうな熱意を持つてゐたんだが中一の前期にシボレット意欲がなくなつてしまつた。やはりはじめからクラブに入るべきだ。

森藤 ホームルームは担任の先生の働きが大きく影響するから一つ先生にもがんばつてもらつて生徒と生徒会の良い連絡機関としてほしい。

水渡 中一の時から加入してクラブの雰囲気になれる方がいい。

森藤 先生は生徒をおどかしすぎる。先生にもつと生徒の気持ちを理解してもらいたい。個人的におどかすのは絶対にやめてほしい。

司会 学校に何点以上ないとクラブ活動をしてはいけないという規則があるのか。

緒方 平均点が何点以上でないといふ規則はない。ただ、先生として生徒に注意を要するものは当然のこと。

森藤 現在、中一ではクラブ活動に加入することが禁止されてゐる。良くないと思ふ。学校に入つた時から生徒に予備校的な印象を与えてしまふ。

緒方 学校の方針としては学校になれさせるために参加させないだけだ。

川勝 僕の場合、入学した時一つクラブにでも入つてあつた。やうな熱意を持つてゐたんだが中一の前期にシボレット意欲がなくなつてしまつた。やはりはじめからクラブに入るべきだ。

北海道行に決定

北海道行 高校修学旅行は北海道行と決定した。現高校二年の修学旅行は北海道行と決定した。現高校二年の修学旅行は、来年の春休みに九州へ行くか、又は今年の夏休みに北海道へ行くかの二案が出たが、先づ生徒間で決を取つた結果、北海道行が決定した。北海道行は、之も北海道行を持つた多数あつたので修学旅行は北海道へ行く事に決定された。日程は十月十一日、汽車は他の学校と一緒に徳島列車、他の細目は未だ発表されていない。

川勝 それに生徒会に権威といふものがほしい。そのためには、少々独断的になつてもかまわないと思ふ。

司会 それでは新役員に望む事を述べていただろう。

永原 なんにせよ幹部がみんなをひきついでいかなくてはならぬ。

森藤 ベストを尽くすことだ。

司会 それでは、新役員の仕事に期待して、このへんで終らせていただきます。

北海道行 高校修学旅行は北海道行と決定した。現高校二年の修学旅行は北海道行と決定した。現高校二年の修学旅行は、来年の春休みに九州へ行くか、又は今年の夏休みに北海道へ行くかの二案が出たが、先づ生徒間で決を取つた結果、北海道行が決定した。北海道行は、之も北海道行を持つた多数あつたので修学旅行は北海道へ行く事に決定された。日程は十月十一日、汽車は他の学校と一緒に徳島列車、他の細目は未だ発表されていない。

川勝 それに生徒会に権威といふものがほしい。そのためには、少々独断的になつてもかまわないと思ふ。

司会 それでは新役員に望む事を述べていただろう。

永原 なんにせよ幹部がみんなをひきついでいかなくてはならぬ。

森藤 ベストを尽くすことだ。

司会 それでは、新役員の仕事に期待して、このへんで終らせていただきます。

北海道行 高校修学旅行は北海道行と決定した。現高校二年の修学旅行は北海道行と決定した。現高校二年の修学旅行は、来年の春休みに九州へ行くか、又は今年の夏休みに北海道へ行くかの二案が出たが、先づ生徒間で決を取つた結果、北海道行が決定した。北海道行は、之も北海道行を持つた多数あつたので修学旅行は北海道へ行く事に決定された。日程は十月十一日、汽車は他の学校と一緒に徳島列車、他の細目は未だ発表されていない。

笠

生徒会の会合において、しばしば「学校の許可がもらへません」といふので、この計画は実現できません。というふうな言葉を聞く。こういうことが生徒会には、その性格上、ある程度学校の意向によつて左右されるといふこともない方なからう。しかし生徒会においては、こういう事を非常に不満としてゐる。又、生徒会の幹部がある計画を実行しようとしてゐる時、必ず「学校の許可がもらへるか」といふ言葉が飛び出すのである。

生徒会がなにかやろうといふ時これを表現させるには、まず学校の許可が必要だといふ状態。学校はもつと生徒会を信頼し、何でもやらせようとする。かゝるやうな学校に制限されてしまつたといふ生徒会に自主性といふものがあるのかないのか、わからなくなつてゐる。その結果として生徒会のやる仕事といふのが予算配分とか、命令をかける事といふものになつたものになつてゐる。これは生徒会の権限、これはどの程度のものがあるべきかこれは非常にむづかしい問題である。しかし今までの生徒会の権限は余りにも少なかつたといふことだけは言えるのであつた。

学校側には、真実に考へていただき、又、今年度の生徒会役員諸君もこの問題を真剣に考へていただきたい。生徒会を相手にして活動する生徒会がなして、学校を相手に活動する生徒会といふ感じがしないでもない。何事もあるに於て「権限」の問題が解決しない限り成功する事は非常に少ないと思ふ。今後、生徒会の活躍を期待しよう。

—心残りな不活発さ—

試みるのは諸君であるべきです。善いと思つてはほんとに行つて下さい。生徒一人一人がもう一つ洛星の生徒である」と云つてにやがて責任をもつべきだと思ひます。それが私学の特質だと考へるのは願ひでしうか。今述べた様なこととは自然時間解決を与えるのかとも知れませんが、又、それでないかも知れません。もう少し僕が大きいかなればわかると思つてますが……。

最後に、母校の発展を祈りながらベンをおくことにします。

「夢ではないか」と思つてひとみをこらし、ほおをつつた合格発表場での興奮は、今や昨日の夢となつた。合格ということが去年一年間僕の青い鳥であつたが、合格してみればそれまでのもの。所詮、合格とはこんなものなのならう。

容易に理解させると教官の値が下るらしく、これをむつかしく遠く教える。東大なんか専門課程で教えるのを、一年間でやろうという馬鹿な教官である。しかし頭はあまり使わなくてもいい。

京大は共学であるから女性はいゝ。しかし美人はいない、皆醜態

天下の難関一京大に七名、その他諸大学に入学したものを合わせると三十二名という立派な数字を残した我等の先輩。まだ、その喜びに、ふくれにふくらんでいるその胸の中を、熱の冷めぬまにと思つてここにひろうしてもらつた。四名の先輩に原稿を頼んだ結果、山田、佐竹の二君だけしか、応募してくれなかつたのは非常に残念である。

に關しては遊べない」といふことだ。語學と數學はものすごいスピードで進む、今の所追いつくのがやつとである。もう一つ國學（製圖のこと、大學では何んでも『字の字をつけている』）といういながある。じつくり考えれば大したことではないのであるが、あまり

それか驚かすといふことが出来た。こゝろから見ていくと、けつてツブの大きい女性徒を見つけた。篇幅よりうんと大きい。野村高史の話では、これは勉強で坐りすぎて榮養がすべてしりにたまつたとのこと。彼は生物をとつていたから多分本當の體だらう。

政治學の敎官の自民黨攻撃は痛快である。大野伴睦でも聞いたら

する四月二十五、八両日の選挙選ばれた者は「致

去る四月二十五、八日日の選挙
により高校生徒会の役員は一応の
決定を見た。選挙そのものが低調
であつたと言ふ事実は否めないが
役員諸君の健康を祈る次第である
。旧来我校に対する世評に大し
いと言ふのがある、この大にしい
と言ふのにも種々の型がある、何
もしなくてボサツとしているのや
紳士らしい振舞や……。我々がど
んな型に属するかは一人一人が考
えるべき問題である。が、とにか
く大にしいものである。さて我校
の徒会活動に於ける大にしさはど
うであらう、之に対してはファイ
トがないの一語につきる。役員に
選ばれた者は「致仕方が無い」生
徒は生徒で「俺は知らんで」と言
つた感が深いそれに対する批評は
止めにしよつ。しかしそうなつた
原因は考える必要があるだらう。
先ず生徒会の機構についてである
が、中央委員会の存在が問題であ
ると改まりそうにないし、一朝一
夕で改まる事でもない。
しかし会員一人一人が生徒会の
重要性を強かに認識しているのな
らう。これは低調な活動に終始する
事無いだらう。聞く所によると
他校に於てもやはり生徒会活動の
不振が嘆かれていた。また、高校
高学年となれば大学受験と言つ
て意味からも高校一、二年の時に
は生徒全員がクラブや生徒会活動
に参加すべきである。意義ある高
校生活を単に受験生活に費したと
言ふのでは残念である、くどくど
と述べたてが要は次の様うな事
である。
先ず洛星の生徒一人一人が生徒
会の立場を再認識し、ホームルー
ム或いは集会に於て一言半句でも
意見を吐き、出来得る限りのクラブ
に加入する事である。洛星生徒会
の低迷を考えて生徒諸君が自覚と
熱意を促す次第である。

ない。このことは、誰もが認める
ところである。人格者といつても

たではすまさんだろ
う。白粉恋と結婚の
教師だといっているが
今の授業の中ではこの
教官のが一番面白い。

来 来 来！

つめることゝ屬應えてゐる。要は集中度をいかに高くするからである。

2、授業のある日には、約7時間（この中には當日、翌日の授業の準備も含む）。休日は何かにまゝまつた事を二つはやるようにした。授業がなくなつてからは、自分で計画して一日十時間―十二時間。

心々　ちの期るるか

るに、睡眠は必ず七時間以上は取るようにして欲しい。しかし、秋の頃になると気候も勉強に適するものになるから、少々の無理はわむ得ないですよ。

2、諸君の睡眠時間とラリー・タイムを除けばすべて勉強時間と心得るよ。

こそ 高く 高の だが 青年 半年 そつ がん いて

崇高だと稱讃して、僕は羨し
強した。もちろん、大学を最
目録とすることは暇あすべき
、寛容と努力なき人生、特に
時代はおそくてならない。
や一年の勉強、若いからだか
あつさり参るものではない。
うならば、最も簡単に強め
んたつてみるのだ。方法につ

ふで、
して
て置
力が
の〃
たけ
に怒
はす

別に何もしてませんでした。
もなく、勉強するでもなく
していました。唯一つ注意
きたいのは水泳だけはしな
良いと思います。

大学入学

狀況——

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200	201	202	203	204	205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221	222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238	239	240	241	242	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252	253	254	255	256	257	258	259	260	261	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272	273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286	287	288	289	290	291	292	293	294	295	296	297	298	299	300	301	302	303	304	305	306	307	308	309	310	311	312	313	314	315	316	317	318	319	320	321	322	323	324	325	326	327	328	329	330	331	332	333	334	335	336	337	338	339	340	341	342	343	344	345	346	347	348	349	350	351	352	353	354	355	356	357	358	359	360	361	362	363	364	365	366	367	368	369	370	371	372	373	374	375	376	377	378	379	380	381	382	383	384	385	386	387	388	389	390	391	392	393	394	395	396	397	398	399	400	401	402	403	404	405	406	407	408	409	410	411	412	413	414	415	416	417	418	419	420	421	422	423	424	425	426	427	428	429	430	431	432	433	434	435	436	437	438	439	440	441	442	443	444	445	446	447	448	449	450	451	452	453	454	455	456	457	458	459	460	461	462	463	464	465	466	467	468	469	470	471	472	473	474	475	476	477	478	479	480	481	482	483	484	485	486	487	488	489	490	491	492	493	494	495	496	497	498	499	500	501	502	503	504	505	506	507	508	509	510	511	512	513	514	515	516	517	518	519	520	521	522	523	52
--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----

1、睡眠時間
2、勉強時間
3、休けい時間（何れも一日平均）
4、どのようなレクリエーションをどのような時間にしたか
5、三年の夏休みをどう

疲を。いなた。二風。る。軽。力。び。飽。ば。

2、十四時間。勉強時間は多いが、かかりが良いのではない・もつと率の良い勉強法、及び得点と結果の強い勉強法を編み出すのに努力すべきであつた様にする。

3、一時間に五分十分の割合で、練習をやると調子がよくなる様に思ふ。

4、謡曲部とハンドボール部にし、各々週一回(二時間)、週回(九時間)の練習。

5、涼しい間に勉強する様にしよう。暑い間はなかなか出来ないうえに無理して勉強すると体がまづてしまふので秋に頑張らないように着くても薄いシャツを着る様にした。こうすると余り疲れない。夏休みの勉強は重

(内容は上下巾をもたせて)愉快なことであり、効果的なり。(結局4、5時間)

4、学校や友の家でしゃべるのを、最も重い比重をしめていたところ、その他ソフトボール等のスポーツ山歩き、映画等。

5、三年の夏休みになり、事無しの暇迫りを悟り、お寺にもつたん(これは失敗)。学校(原くて奥まで皆でやつていた。主要三科目の征服が目玉。合間には文学書や歴史書を見た。

6、女鞋については、もうばれぬ話の話題になるのみ。(結構楽しい山歩き。映画など時間を過すまいとして、余りの甲につけず。

年う な行々を はてくきては

ないが、勉強の虫のまことになつてゐる人はきめです。諸君の良計画で月に一回位、日曜日に近の山へでも弁当をもつて出かけていって聲をほり上げ、その時には一斉、受験の事は忘れて下さい。

5. 何か一つをマスターする

6. 受験と恋愛が両立するといふ人がいるが、それは嘘です!!一位苦しまたまへ!!

田中健一

本 員が とい 度の 二書 果を るが あつ 成績 の入 京 船大 法政 二名

學園は今年初めての卒業生
り出し、公市民の注目する中
く一部の就職した者を除き全
大学受験を行った。第一期生
に不利な条件の中で、どの程
成績をあげえるか、六年間の
した教育方針がどの程度の成
あけるか注目されたわけであ
、一期生という不利な条件が
たという事を考えれば立派な
だといえそうである。各大学
の状況は次のとおりである。

大学	卒業生	就職者	進学率
京大	七名	七名	100%
東大	七名	七名	100%
慶大	七名	七名	100%
關大	七名	七名	100%
上智	甲南・写真短大・各	七名	100%
早大	二名	同志社九名・立	100%

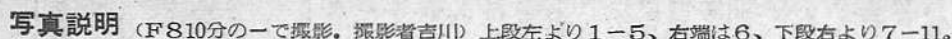
二名
度
を
し
日
し
主
が
枝
も
は
は
もの
入
と
木
年
は
人
の
を
日
の
お
は

が入学したわけである。
の入学率について、進路指
ておられる先生方のお話を
たところでは、「最初の卒
京大に一人も入らなかつた
あるわけで、今回の洛星の
はじめてにしては、立派
た」ということになる。
米年の昇進については、
ころ全く未知数なところであ
は浪人と現役でいたい一
となるわけで、どの程度の
おさめることができるかが
的といったところである。
今標準試験の成績等と比

写真十六枚を撮影

観測はサングラスを通しての直視、投影の二通りの方法で、二台の望遠鏡を用いたが、サングラスを付けた方は、列を作つて順番を待つ姿が絶えなかつた。

望遠鏡をのぞくと月のそばに非常に大きな黒点があつた。一時十分頃食甚となつた。空は晴れているのにあたりは薄暗くなつて、あやしい風が吹いていて、何



光星学院生来訪す

上高皿）、水渡君、川勝君、奥田君、新聞部からは時野合君、安田君、それに富永、池上阿先生が出席された。

|| 歷史部 ||

